

6月5日 県内の物流関係者が岡山県知事を訪ね、県内物流の現状を報告しました

6月5日、県内の物流関係者5社が、岡山県庁を訪れ、伊原木知事に県内物流の現状について報告しました。

新型コロナウイルスの感染により様々な影響が広がる中、くらしと経済のライフラインを支える物流関係者からは、「不要不急の外出自粛の影響で、宅配や食料品などの配送需要が急増し、夏場を迎え、冷感マスクなど熱中症への対応も課題である」、「物流事業者に必要な物資・機器の優先的供給、助成をお願いしたい」、「自動車の生産ライン停止や、鉄鋼需要の落ち込みにより、国内にとどまらず海外も含め、まだまだ厳しい状況が続くことが懸念される」という意見が出されたほか、雇用確保に係る助成金の申請手続きの簡素化や迅速化、また第二波への懸念がある中で、県からの引き続きの情報提供についての支援についても要望しました。

知事は、「県民の生活を支える皆さんが頑張っておられることに改めて心から感謝申し上げたい。県としても皆さんと一緒に頑張って取り組んでいきたい」と話しました。

